



世界から選ばれる観光地を目指して サステナブルツーリズムへ 持続可能な観光へ



県では、豊かな自然環境や個性豊かな文化を生かし、世界から選ばれるサステナブル(持続可能)な観光地を目指すため、「サステナブルツーリズム」を推進しています。社会・経済・環境の3つの側面において、適切なバランスの取れた観光地づくりを目指しています。また、「任んでよし、訪れてよし、受け入れてよし」の三方良しの標語の下に、「県民の幸せ感」、「観光事業者の満足度」、「観光客の満足度」がバランスよく保たれることで、相互に好循環が生み出されるとしています。

一方で、特定の地域や時期、時間帯に多くの旅行者が訪れることで生じる自然環境や住民生活への影響、不適切な利用などについても課題があるとされています。

このような課題に対して、自然環境の保全や利用のバランスを図るための保全利用協定の推進や、地域の文化・生活環境の尊重、地域ごとのキャパシティを考えた観光客の分散や制限を図るなど、地域住民、観光客、観光事業者に応じたサステナブルツーリズムを推進する必要があります。

具体的には、

県民の皆さんに対しては、 外国人観光客

を温かく迎え入れる機運を醸成し、観光産業に対して理解や関心を深めるための「ウェルカムんちゅになるう」運動を進めています。

外国人観光客の皆さんに対しては、

外国人観光客にマナーや習慣などの違いから生じるさまざまなトラブルを未然に防ぐため、日本の日常的マナーや交通ルールなどを紹介するマナー啓発ハンドブック(沖縄を知る!楽しむ! DISCOVER OKINAWA)の配布

人や環境などに配慮した新しい旅のかたちとして「エシカルトラベルオキナワ」の提案

観光事業者の皆さんに対しては、

- サステナブルツーリズムに取り組む好事例の調査・紹介
- サステナブルツーリズムを進める団体への補助金や活動の支援
- などに取り組んでいます。

県では、県民一人一人のホスピタリティ意識を高揚させる取り組みや、観光客と地域住民が価値を共有するサステナブルツーリズムの推進を、引き続き図っていきます。

「おきなわSDGsアクションプラン」とは

沖縄らしいSDGsを推進していくための基本理念や優先課題(①~⑫)などに対応した具体的なアクション、モニタリングの指標などをまとめたものです。



←全文を読めます

